



平成22年度 1級建築施工管理技術検定 〔実地試験〕解答試案

【問題 1】 経験記述につき省略

【問題 2】 現場における管理事項（災害防止対策）

1. 墜落災害（2つ）

発生の恐れのある作業や状況	仮設足場を設置中に、作業足場から墜落する。
災害を防止するための対策	必ず命綱を設置する場所を決めて、職長が確認しながら作業するよう、作業開始前のミーティングで徹底させる。

発生の恐れのある作業や状況	開口部周囲で作業中、開口部の蓋がずれて転落する。
災害を防止するための対策	蓋にずれ止めがないのが原因であり、蓋にずれ止めを追加し、蓋の縁を目立つように赤で着色する。

2. 飛来・落下災害（2つ）

発生の恐れのある作業や状況	高所作業中に、木片が風に吹かれて飛び、隣の駐車場にあった車を損傷する。
災害を防止するための対策	外部足場にメッシュのシートを張り、飛散物の落下防止を図る。

発生の恐れのある作業や状況	コンクリートの打設中に、外部足場側にコンクリートがこぼれ、落下する。
災害を防止するための対策	外部足場は、打設するスラブ高さより1枠高く組み立て、足場と躯体の間には、防網を設置する。

3. 崩壊・倒壊災害（2つ）

発生の恐れのある作業や状況	鋼製仮囲いが、強風時に、風圧に対して耐えられずに倒壊する。
災害を防止するための対策	支柱間隔を適切に保持し、控えパイプ及び埋込み材を堅固に固定する。

発生の恐れのある作業や状況	ジブ式クレーンの揚重作業において、過負荷の揚重を行ったために倒壊する。
災害を防止するための対策	ジブ式クレーンの過負荷防止装置や、安全装置が作動するか等の自主検査がなされているかを確認する。

【問題 3】 躯体施工

	最も不適当な箇所番号	適当な語句
1.	①	30
2.	②	ローラ等
3.	①	ハンマクラブ
4.	①	400
5.	③	25
6.	③	小さい
7.	②	海砂
8.	③	弱い

【問題 4】仕上工事

1. 屋上アスファルト防水におけるコンクリート下地面の状態や形状についての留意事項（2つ）

施工上の留意事項	①平場部分は、平坦で凹凸がないように、金ごて等で丁寧に仕上げる。
	②鉄筋、番線などの突起物、モルタルのこぼれなどは防水層を破壊する原因になるので、完全に除去する。

2. カーペットをグリッパー工法で敷く時の施工上の留意事項（2つ）

施工上の留意事項	①下敷き材のはぎ合わせは突き付けとし、下地がモルタル塗り等の場合は、ジョイント及び四方を接着剤で接着する。
	②グリッパーは、周辺に沿って連続して均等な隙間を作り、釘または接着剤で取り付ける。

3. 外壁二丁掛けタイルを改良圧着張りで張る時の施工上の留意事項（2つ）

施工上の留意事項	①下地モルタル面に張付けモルタルを4～6mm程度塗り付け、タイル裏面に張付けモルタルを3～4mm程度乗せて、たたき締めて張り付ける。
	②1回の張付けモルタルの塗付け面積の限度は2m ² 程度、モルタルの練置き時間は30分未満がよい。

4. 天井仕上げで、ロックウール化粧吸音板をせっこうボード張り下地に張る時の施工上の留意事項（2つ）

施工上の留意事項	①ロックウール吸音板の繊維方向と下地の方向は直行させると共に、吸音板の目地は下地の上にくるように割付けを行う。
	②目地当たりにとんぼ押さえを行うか、ばりで仮押さえを行い、接着剤が完全に硬化するまで、荷重を掛けないようにする。

【問題 5】施工管理（工程管理）

1.	Aに該当する作業名	切梁解体	
	Bに該当する作業名	屋上防水	
2.	終了日が最も不適当な作業名	床仕上げ張り	
	その作業の適当な終了日	10月下旬	
3.	金属製建具工事の外部建具取付け	開始日	6月上旬
		終了日	7月上旬

【問題 6】法 規（当てはまる語句を記入）

1. 建設業法

①労働者

②是正

2. 建設業法

③下請契約

④施工体制台帳

3. 労働安全衛生法

⑤有害

⑥特別



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251

■FAX.022(266)0868